


II) 環境に配慮した安全・快適な生活環境づくり <定住環境>


豊かな自然と共存し、市民が住みたい、住み続けたい安心感と満足度の高い生活環境づくりをめざします。

将来目標	基本施策		
	成果指標	現況値	めざそう値
i) 神話と自然を活かした田園都市 	A) 都市基盤の整備		
	雲南市の中心市街地を便利だと感じる市民の割合	40.8%	50%
	B) 自然環境の保全		
	自然を守るために何らかの取り組みをしている市民の割合	53.5%	60%
ii) 環境にやさしく住みたくなるまち	C) 地域情報化の推進		
	ケーブルテレビブロードバンド契約世帯数	3,767世帯	4,600世帯
	インターネットを利用している市民の割合	35.4%	45%
iii) あたたかい人の和で安心安全なまち	A) 道路・交通の整備		
	国道・県道整備率	72.0%	75%
	B) 生活環境の充実		
iii) あたたかい人の和で安心安全なまち	A) 消防・防災・安全対策の充実		
	雲南市内における交通事故による死者数	8人	0人
	災害に対する家庭内での備えができていない世帯の割合	18.3%	50%

こんな事業があります：リサイクル推進事業、環境基本計画策定事業、IT講習推進事業、交付金道路整備事業、市営バス運行事業、火災報知器整備事業

III) 地域で支えあうくらしづくり <保健・医療・福祉>

地域に住む人たちの支えあい、助け合いにより安心できる福祉・医療・子育ての環境の向上をめざします。

将来目標	基本施策		
	成果指標	現況値	めざそう値
i) 安心して子育てのできる支えあいのあるまち	A) 安心して子育てのできる支えあいのあるまちづくり		
	子育てしやすいと感じる市民の割合	64.1%	75%
ii) 誰もが生涯健康でいきいきと生きがいをもって暮らせるまち 	A) 保健・医療・福祉の充実		
	日常の医療機関に満足している市民の割合	55.0%	65%
	日常的に健康づくりに取り組んでいる市民の割合	69.1%	75%
	B) 高齢者が健康で生きがいをもって暮らせるまちづくり		
	平均自立期間(男性)	16.8年	19年
	平均自立期間(女性)	20.3年	22年
iii) 身近に感じる福祉の窓口づくりと地域医療体制の充実	C) 障害者が自立した生活ができるやさしいまちづくり		
	居宅サービスの利用件数	2,322件	2,500件
	A) 地域の中でお互いに支えあい、安全安心な生活ができる環境づくり		
iii) 身近に感じる福祉の窓口づくりと地域医療体制の充実	日常の暮らしの中で、困った時に相談できる場所や人がいると感じる市民の割合	70.8%	80%
	福祉に関するボランティア活動に参加したことがある市民の割合	28.7%	40%

こんな事業があります：地域子育て支援センター事業、身体教育医学研究所事業、老人クラブ活動促進事業、いきいきサロン事業、身体障害者ホームヘルプ事業

今回は、IV) ふるさとを愛し豊かな心を育む教育と文化のまちづくり、V) 賑わいあふれる雲南市と推進計画について紹介します。

基本計画

その目的

基本計画は、「生命と神話が息づく新しい日本のふるさとづくり」を基本理念に基本構想で示した五つの未来像を実現するために、前期4年間に行う施策・事業を体系的に示した計画です。(基本構想の中間年に一度再検討を行い、必要に応じて見直しを行う予定です。)

その特徴

これからのまちづくりは、雲南市を構成する市民や団体・企業などのまちづくりに係る全ての人々が協力しあいそれぞれに力を発揮していくことが必要です。基本計画はその具体的な協働の指針となる計画であることから、基本構想で掲げた五つの未来像毎に将来目標を設定するとともに、市民と民間、市、国県の役割分担と共通の成果指標(めざそう値)を設定しています。



用語説明
 ※1 役割分担 それぞれの事業に取組む市民、民間、市、国県の役割の度合いを明らかにしています。
 ※2 成果指標 将来像の実現に向けて市民、民間、市、国県が協働・連携して自ら取組むことによりめざす指標です。(めざそう値の達成に向けて、誰もが雲南市をよくしていくことと活動を繰り返し広げたり、施策・事業を展開していく動機付けの役割も果たします)
 ※3 現況値 今年4月に実施した市民アンケートや統計データ等による数値です。
 ※4 めざそう値 平成22年度での達成をめざす数値です。

今回は基本構想についてご紹介しましたが、今回からは、「基本計画」についてその概要を紹介していきます。



生命と神話が息づく新しい日本のふるさとづくり
雲南市総合計画を策定しました
 シリーズ②

I) 市民と行政の協働によるまちづくり <住民自治>

市民と行政がお互いの役割を尊重し、それぞれの立場で役割と責任を担い合いながら共通の目標に向かって取り組みます。

将来目標	基本施策		
	成果指標	※3 現況値	※4 めざそう値
i) 躍動、私の夢かなうまち	A) 地域を担う人材の育成・確保		
	まちづくりに関心があると感じる市民の割合	74.7%	80%
	まちづくりを担う人材が育っていると感じる市民の割合	30.3%	40%
ii) 参加、みんなの力で創るまち	A) 市民活動の充実		
	過去1年間に地域活動・ボランティア活動に参加した市民の割合	48.6%	60%
iii) 発信、地域の宝を活かすまち	A) 地域の宝を活かした市民と行政の協働		
	市民が主役となったまちづくりが取り組まれていると感じる市民の割合	32.0%	50%
	行政情報を得やすいと感じる市民の割合	40.1%	60%

こんな事業があります：定住対策促進事業、自治会運営交付金、地域振興補助金、広報活動事業、地域イベント補助金、地域委員会事業

